

令和3年度 数学科

教科	数学科	科目	数学 I	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編 数学 I (啓林館)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・週に1回の授業です。理解するためには授業以外での学習が必須です。
- ・課題提出を定期的に要求します。授業時間外の学習で何がわからないかをはっきりさせながら課題に取り組むようにしましょう。
- ・毎時間プリントを提出してもらい、理解しきれていないところの把握をします。
- ・ノートを用意してもらいます

2 学習の到達目標

2次関数、データの分析についての基礎的な知識や技能を習得します。  
また事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを実生活に活用する態度を身に付けることを目標とします。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	2次関数、データの分析の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、2次関数、データ分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	2次関数、データの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	2次関数、データ分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	小テスト 課題 出席、遅刻状況 授業中の態度様子等	小テスト 課題 定期テスト 授業中の態度様子等	小テスト 課題 定期テスト 授業中の態度様子等	小テスト 課題 定期テスト 授業中の態度様子等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	2次関数	関数	◎	○	○	○	a: 2次関数とそのグラフや値の変化、2次方程式と2次不等式に関心をもつとともに、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、2次関数を活用しようとする。 b: 表、式、グラフを関連づけながら変化の様子をとらえることができ、具体的な事象について、ともなって変化する2変数に着目して変化の様子を見出すことができる。 c: 関数を用いて数量の変化を表現し、関数の値の変化を調べることができる。 また方程式や不等式について考察することができる。 d: 2次関数とそのグラフ及び関数の値の変化について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	出席状況 授業参加状況 小テスト 課題 観察 定期テスト
		2次関数のグラフ	◎	○	○	◎		
		2次関数の決定	◎	○	◎	○		
		2次関数の最大・最小	◎	◎	○	○		
		最大・最少問題の応用	◎	○	○	◎		
		2次関数と方程式・不等式	◎	○	◎	○		
後期	データの分析	色々なデータの分布	◎	○	◎	○	a: 様々な事象から見出される確率や統計に関するデータの分析に関心を持ち、生活や問題解決の中で活用しようとする。 b: データを整理した表や図から傾向を把握することができる。代表値などから複数のデータの比較をすることができる。 c: 統計の基本的な考えを用いてデータを整理・分析してその傾向を的確にとらえ説明することができる。 d: 四分位偏差、分散、標準偏差、散布図と相関係数などの統計の用語の意味やその扱いを理解している。	
		データの傾向のとらえ方	◎	○	○	○		
		データの相関	○	○	◎	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度  
c: 数学的な技能

b: 数学的な見方や考え方  
d: 知識・理解